

風の道

かぜのみず

2022年 vol.29

東部医療センターは令和3年4月1日より、
名古屋市立大学医学部附属東部医療センターとして新たな出発をいたしました。

この大学病院化で名古屋市立大学病院・西部医療センターとともに優れた医療人の育成や先端的研究の発信を基盤とし地域に根差した高度先進医療の提供に一層努めて参ります。改めまして名古屋市立大学医学部附属東部医療センターをよろしくお願ひいたします。

内分泌・糖尿病内科の紹介

私たちの血液の中にはホルモンという物質が流れています。ホルモンは特定の細胞から分泌され、血液を介して全身に行き渡り、ホルモンの受容体を持つ細胞の機能を調整します。細胞からホルモンが血液中に分泌されることを「内分泌」といいます。内分泌・糖尿病内科は、ホルモンの作用に異常が出る病気を中心に担当する診療科です。以前は内分泌内科という名称でしたが、内分泌疾患の中で最も多いのが糖尿病の患者さんですので、みなさまにわかりやすくなるように診療科の名称を変更しました。



ホルモンの分泌量が多すぎたり少なすぎたりすると、ホルモンの受容体を持つ細胞の働きが変わってしまい、体の不調を来します。ホルモンを分泌する臓器は、視床下部・下垂体、甲状腺、副甲状腺、胰臓、腎臓、副腎、卵巣・精巣、脂肪組織などたくさんあります。それぞれの臓器から分泌されたホルモンは全身に作用するので、病気の原因が見つかりにくいことが多いです。気になる方は、かかりつけの先生や私達に相談して下さい。

糖尿病

ホルモンの作用が低下する病気で最も多いのが糖尿病です。糖尿病は胰臓から分泌されるインスリンというホルモンの作用が不足するために血糖値が高くなる病気です。生活習慣病の一つである「2型糖尿病」の患者さんが最も多くいます。生活習慣だけでなく遺伝素因も病気の発症や進展に関わりますので、食事や運動習慣の見直しに加えて、適切に薬を使用して良好な血糖コントロールを維持し、合併症を予防する必要があります。2型糖尿病の方でも、インスリンを分泌する力はだんだん低下していくことが多いので、その時に応じて適切な治療を選択する必要があります。また、定期的に合併症の進行具合を調べて対応することが重要です。内分泌・糖尿病内科では、外来診療に加えて、合併症を調べたり糖尿病の治療方針を見直したりするための糖尿病教育入院を行っています。また、定期的に糖尿病教室を開講し、糖尿病やその合併症、食事療法、運動療法、薬物療法、フットケアについて学んで頂きます。

甲状腺疾患

糖尿病の次に多いのは甲状腺の病気です。甲状腺から出るホルモンが多くなる「バセドウ病」、少なくなる「橋本病」などがあります。また、健康診断や他の病気の検査をきっかけに、甲状腺に腫瘍が見つかることがあります。その場合は、甲状腺超音波検査、穿刺吸引細胞診などによって診断を行います。

その他の内分泌疾患

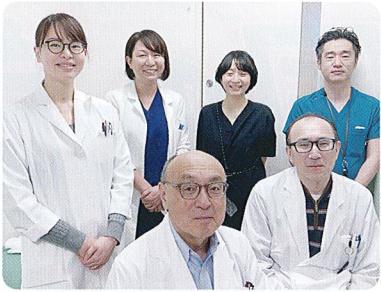
「最近元気が出ない」、「トイレに起きる回数が増えた」などの症状をきっかけに下垂体の病気と診断されたり、高血圧、糖尿病などが副腎の病気の影響で起きていることが判明したりする場合があります。内分泌・糖尿病内科ではホルモンの異常が隠れていないか慎重に検査して、適切な治療を選択するお手伝いをさせて頂きます。

産婦人科の紹介

産婦人科は、妊娠出産に関わる周産期医療と、子宮や卵巣などの婦人科疾患、女性ホルモンなどの内分泌に関わる疾患の治療を行っています。東部医療センターで、現在特に力を入れている診療・治療について紹介させていただきます。

内視鏡手術

当院産婦人科は、県内でも有数の内視鏡手術件数を誇っており、子宮筋腫や卵巣腫瘍などの良性疾患に対しての内視鏡手術を数多く行っております。2021年には全手術件数554件のうち357件（腹腔鏡下手術を301件、子宮鏡下手術を56件）行いました。内視鏡手術は低侵襲ですが、特有の合併症もあるため安全性を担保するように手術器具の選択や術式の改良を行っております。また、2021年4月よりda Vinciが導入され、保険適応のある子宮全摘術の症例に対して積極的に導入していく予定です。



ホルミウムレーザーによる治療

子宮頸部異形成や、卵巣チョコレート嚢胞に対してレーザー治療を行っております。臓器に愛護的な手術であり、若年の方や今後挙児を希望される方にも安心して治療を受けていただけます。

周産期治療

当院では遺伝専門医による胎児エコーを隔週木曜日に行っております。妊婦健診中に異常を指摘された妊婦さんや、希望された妊婦さんに対し予約制で施行しています。ご希望の患者さんは担当医にお伝えください。

当院は24時間365日断らない救急医療を目指し、救急外来スタッフと共に日夜奮闘しております。今後ともよろしくお願ひいたします。

栄養管理科の紹介

栄養管理科は、内分泌・糖尿病内科医師のもと、管理栄養士・事務職員・委託給食会社の調理員・調理補助員など総勢60名以上の職員で「安全で美味しい食事を提供」することを理念に、患者さんの早期治癒に栄養面からサポートできるよう業務に取り組んでいます。

～安全で美味しい食事の提供～

病院の食事は治療の一環であると同時に入院生活の楽しみの一つであって欲しいと思っています。そこで、夕食は主菜を2つのメニューから選ぶことのできる選択メニューやてんぷらの盛り合わせや煮込みハンバーグなどちょっと豪華なメニューを選べる「特別メニュー」などを実施しています。

また、食欲のない患者さんには、管理栄養士が聞き取りに伺い、果物やアイスクリーム、ときにはカレーライスやたこ焼きなど少しでも食べていただけるような食事提供に努めています。



～チーム医療への参画～

管理栄養士の業務のもう一つの大きな柱が、入院患者さんの栄養改善に貢献できるよう、医師をはじめとして看護師・薬剤師など色々な専門職とチームを組んだ活動です。栄養サポートチームでは栄養状態のよくない患者さんをピックアップして、経腸栄養剤や食事形態、点滴や薬剤など、総合的に検討します。認知症ケアチームでは、食事を楽しんでもらえるように、バイキング形式の食事会を開催するなどの試みを実施しています。

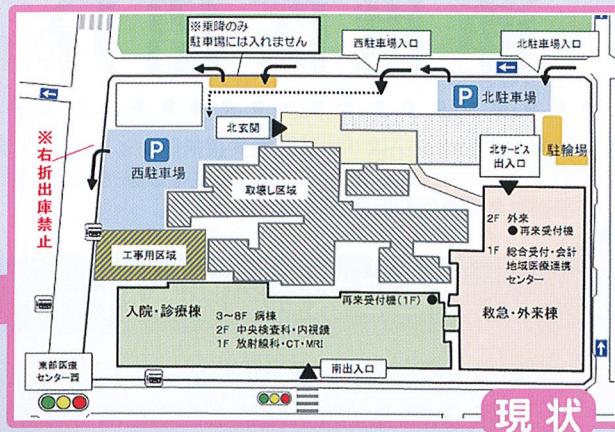
今後はもっと地域とのつながりをつくり、広く栄養面でサポートできればと考えております。



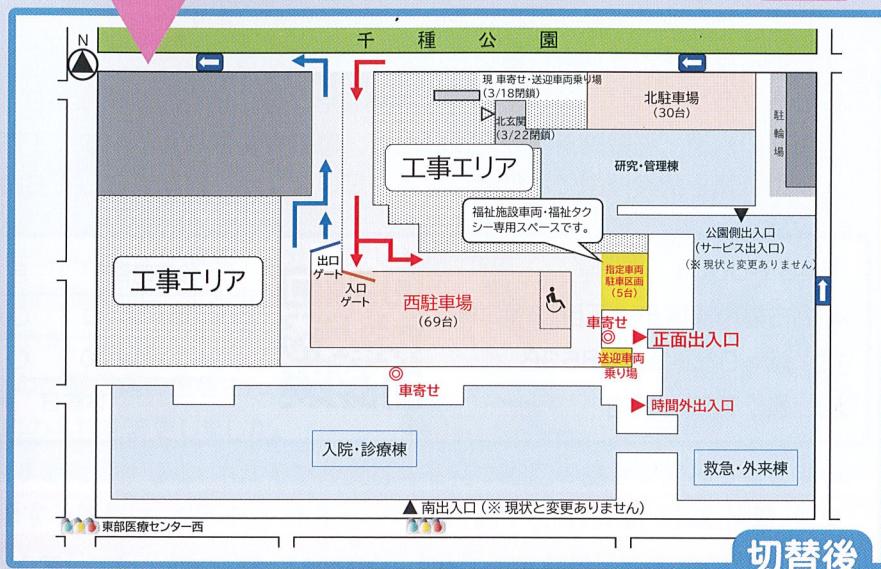
大学病院NEWS

3/22に
病院の出入口などが
切替わります

平素より当院の旧棟取りこわし工事・外構工事にご理解・ご協力いただきありがとうございます。この度、工事の進捗に伴い令和4年3月22日に病院の出入口等が切り替わることとなりましたので、お知らせいたします。工事の完成は令和5年の春を予定しているため、引き続きご迷惑をおかけいたしますが、今後ともよろしくお願ひいたします。



現状



切替後

栄養管理科

ヘルシーレシピ

なばなの 春色炒め

栄養量
(1人前)
129Kcal

たんぱく質…8.9g
脂質………6.9g
炭水化物…9.1g
塩分………0.6g
鉄分………7.8g

材料 (2人分)

なばな……………100g
ゆで筍…………1/4本(50g)
パプリカ赤…………1/2個
スナップエンドウ……6個
あさり水煮缶……1缶(85g)
卵……………1個
ごま油……………小2
オイスターソース………小1
黒コショウ…………適量

作り方

- 1 なばなは食べやすい大きさに切る。
ゆで筍・パプリカは短冊切りにする。
スナップエンドウはすじをとり、斜め半分に切る。
- 2 卵を割りほぐす。
フライパンを熱し、ごま油小1を入れ、炒り卵を作り、取り出す。
- 3 フライパンを熱し、ごま油小1を入れ、1の野菜を炒める。しんなりしたら
あさりの水煮を加える。
- 4 オイスターソースで味付けし、2の炒り卵をさっと混ぜ合わせる。
- 5 皿に盛りつけ、好みで黒コショウをかける。



春が旬の野菜をたっぷり使った炒めものです。

なばなは、カルシウム・鉄・カリウム・マグネシウムなど骨を丈夫にする成分が豊富で、健康維持に役立ちます。
また、あさりには鉄分が多く含まれ、貧血予防にもおすすめの1品です。



連携医紹介

東部医療センターは「地域医療支援病院」として、地域の「かかりつけ医」と連携・協力し、高度な治療・検査・入院・手術などの急性期医療を提供しています。

さとう栄耳鼻咽喉科

さとう栄耳鼻咽喉科



日頃東部医療センターの皆様には大変お世話になっております。

令和3年9月にもともと生まれ育った久屋大通駅近くの実家で耳鼻咽喉科のクリニックを開院しました、さとう栄耳鼻咽喉科院長の佐藤栄祐と申します。

名古屋大学附属病院、あいち小児保健医療総合センター、中部労災病院での臨床経験とオハイオ州クリーブランドクリニックでの留学経験を活かし、小さなお子様からご高齢の方まで耳鼻咽喉科やアレルギーの疾患・睡眠時無呼吸症候群など、患者さんにわかりやすく丁寧な診察を心がけております。

引き続き病診連携でお世話になると思いますが、何卒よろしくお願ひいたします。

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目16番3号

電話 052-972-6536

院長 佐藤 栄祐



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○
15:30~18:30	○	○	/	○	○	/

休診日 水曜午後・土曜午後・日曜祝日

新任・退任医師紹介

新任医師

令和3年10月1日入職



小兒科
はっとり あやこ
服部 文子



小兒科
なかの まさる
中野 優



内分泌・糖尿病内科
なかばやし れんた
中林 廉太



総合外科シニアレジデント
さいとう けんじ
齊藤 健志



消化器外科
まえだ ゆうぞう
前田 祐三

令和4年1月1日入職



産婦人科シニアレジデント
こんどう よしみ
近藤 好美



消化器内科シニアレジデント
にわ ゆうすけ
丹羽 佑介



内分泌・糖尿病内科シニアレジデント
もり かずのり
森 一憲



耳鼻いんこう科
やまかわ まいこ
山川 真衣子

退任医師

令和3年8月31日付 令和3年9月11日付

足立賀子 伊藤彰師
放射線診断科 集中治療センター

令和3年9月30日付 令和3年12月31日付

赤尾雅也	加納裕也
内分泌・糖尿病内科	脳神経内科
森裕介	横井佑梨
耳鼻いんこう科	総合外科シニアレジデント
市野由華	藤吉一馬
消化器内科シニアレジデント	内科学シニアレジデント

発行者／名古屋市立大学医学部附属東部医療センター広報委員会

名古屋市千種区若水1-2-23

TEL 052-721-7171 <http://www.emc.med.nagoya-cu.ac.jp>

東部医療センター

検索

